

下村兼史 映画作品リスト

公益財団法人山階鳥類研究所

2017年1月23日 更新

	タイトル	製作年	製作会社	内容	受賞など
1	水鳥の生活	1939	理研科学映画	カイツブリやカルガモなど水鳥の営巣、生息状態を刻明に描写	文部省推薦
2	「成日の干潟」	1940	理研科学映画	潮が引いて満ちる間のシギ・チドリやカニ、ムツゴロウなど干潟の生物やそこに暮らす人々を詩情豊かに捉えて紹介	文部大臣賞；文部省推薦；皇紀2600年奉祝芸能祭文化映画コンクール1等；第1回日本映画雑誌協会賞
3	富士山麓の鳥	1941	理研科学映画	野鳥の一大生息地、富士山麓の須走周辺に生息する130余種の鳥類の生態を記録	文部省推薦
4	鶴	1941	理研科学映画	伊豆七島御蔵島特有の風土や繁殖するオオミズナギドリ、島民の生活を詩情豊かに活写	文部大臣賞；文部省推薦；昭和16年度日本映画雑誌協会映画賞文化映画ベスト・テン第2位
5	慈恋心鳥	1942	理研科学映画	ジュウイチが他種に托卵する習性の謎を、約3年の月日をかけて科学的に追跡	文部省認定；昭和17年度日本映画雑誌協会映画賞日本文化映画ベスト・テン第3位
6	山と水	1945	理研科学映画	山の荒廃を救う植林事業の全貌	
7	ちどり	1946	東宝教育映画部	ちどりの卵を川原で見つけた少女の観察記録を主題とした生態映画。ちどりにセリフを言わせるなど劇的要素あり	映画世界社賞；文部省認定
8	春の流れ	1947	東映製作所	スメタナの「モルドゥ」をテーマ曲にして、源泉から河口に至るまでの川の流れと水辺にすむ水鳥を描写	文部省認定
9	石の中の鳥	1947	理研映画	千鳥の営巣と子育てを扱うとされるが、詳細は不明	
10	大豆の話	1949	東映製作所	大豆の栄養価を力説し、その栽培を奨励。漫画で表現している	
11	鶴と子供たち	1949	東宝教育映画	鹿児島県荒崎にロケして、怪我した鶴と子供たちの交情を描いたセミドキュメント	
12	こんこん鳥物語	1949	東宝教育映画	タマシギやヨシゴイを主に湿地帯の生物や植物の生態を記録	文部大臣賞；毎日映画コンクール賞
13	雀の生活	1950	東宝教育映画	村の一年とスズメの生態を丹念に追う	
14	成日の沼池	1951	東宝教育映画	ミサゴと雷魚の闘いが主テーマの映像記録	
15	鶴の来る村	1953	奥商会	荒崎を舞台に、村の誇りとして鶴を愛護する子供たちの愛情を通じて鶴の来る村の実態を描く	
16	からす日記	1953	奥商会	ある鳥類学者が子供の捕まえた仔ガラスをその子供と共同飼育した観察記録	
17	干拓	1954	新理研映画	国営干拓事業として代表的な熊本県出水干拓工事を8カ年にわたり記録	
18	わたり鳥	1955	新理研映画	四季を追って日本の渡り鳥の姿を紹介する	
19	巣箱	1955	日映科学	巣箱の必要性、構造やかけ方、利用する鳥の生態を描く	文部省選定
20	成日の草むら	1956	東映教育映画部	静かで平和に思える草むらで繰り上げられる生きものたちの生存競争を捉えた作品	文部省選定；第3回東南アジア映画祭最優秀賞；第3回東南アジア映画祭教育映画特別賞
21	富士は生きている	1956	東映教育映画部	富士山の四季の動物や植物の生態を描く(カラー)	文部省特選
22	成日の内海	1956	東映教育映画部	瀬戸内海の豊島を中心に、海鳥アビ類と共生する漁師がタイを獲る伝統的なイカリ漁を記録	文部省選定；東京都教育委員会選定
23	北海道の大自然	1957	東映教育映画部	滅びゆく北海道の大自然そのままの姿を総天然色イーストマン東映カラーで四季を通して捉えたドキュメンタリー(カラー)	文部省特選；1957年教育映画祭入賞；教育映画祭・特別賞；東京都教育委員会選定；第5回アジア映画祭最優秀賞
24	小さきもの世界	1959	生物映画研究所	日本に生息する66種の昆虫について”我々の足元で人知れず営まれている生活”を虫の視点から撮影した(カラー)	
25	ムービー・アド ショウ チュウ	1961	電通映画社	焼酎販売促進のためのPR映画	
26	特別天然記念物 ライチョウ	1967	日本シネセル	日本アルプスの高山地帯で、四季にわたりライチョウの生態を撮影した下村演出の遺作(カラー)	文部省特選；第22回文部省芸術祭賞(芸術祭・記録映画部門芸術祭賞)；昭和42年度キネマ旬報ベスト・テン文化映画第1位；第14回アジア映画祭非劇映画部門最高作品賞；1967年教育映画祭社会教育部門最高賞；第19回東京都教育映画コンクール金賞；青少年映画審議会推薦；毎日映画コンクール賞(毎日映画コンクール・教育文化映画賞)；第8回科学技術映画祭最優秀賞；優秀映画鑑賞会推薦